

お知らせ

「地熱発電の日(10月8日)」に向けたキャンペーン — 特別授業「地熱発電とまちづくり」を小中高等学校で開催 —

JOGMEC(本部:東京都港区、理事長:黒木啓介)は、日本地熱協会とともに平成 29 年 9 月～10 月、全国 3 地域(北海道森町、秋田県湯沢市、熊本県小国町)の学校において、児童・生徒等を対象とした特別授業「地熱発電とまちづくり」を開催します。

国内初の商用地熱発電所である松川地熱発電所が、1966 年に営業運転を開始して昨年 10 月 8 日で 50 年の節目を迎えたことを記念し、JOGMEC、日本地熱協会、電気事業者連合会は共同で 10 月 8 日を「地熱発電の日」と制定し、(一社)日本記念日協会の認定を受けました。

JOGMEC は、この記念日制定を契機として国民一般の地熱発電への理解を広げ、地熱開発促進の機運を一層盛上げていくため、日本地熱協会とともに「地熱発電の日(10月8日)」に向けたキャンペーンを実施します。

特別授業「地熱発電とまちづくり」は、地熱発電の日に向けたキャンペーンの一環として、国内の地熱地域のなかから全国 3 地域(北海道森町、秋田県湯沢市、熊本県小国町)において「地熱発電と地域の産業」をテーマに特別授業を実施するもので、今年度から新たに取り組む事業です。

本事業では、地域の小・中・高等学校の協力のもと児童・生徒等を対象として、地域の地熱利用者や事業者、自治体関係者等を交えて、地域における地熱発電や地熱利用の現状等について、映像やクイズ、ワークショップなどを通して学んでもらいます。この授業を通じて、児童・生徒が地域の将来を考えるきっかけをつくるとともにエネルギー教育にも貢献してまいります。

なお、地熱発電の日に向けたキャンペーンとしては、この特別授業のほか「地熱シンポジウム in 函館」(2017 年 10 月 17 日実施予定)を開催するとともに、「地熱発電の日ポスター」の国内各地への貼付、地方自治体、電気事業者等の協力による地熱発電所見学会などを実施しております。

■ 参考ニュースリリース:「地熱シンポジウム in 函館」を開催(2017 年 8 月 31 日)

http://www.jogmec.go.jp/news/release/news_06_000302.html

特別授業「地熱発電とまちづくり」開催概要

1. 実施校

【秋田県】 秋田県立湯沢翔北高等学校

日時:2017年9月7日(木)

対象:1・2年生、約400名

概要:山葵沢地熱発電所の建設紹介、湯沢市における地熱利用・観光への期待、同校商業クラブの地熱利用・地域産業連携事業(乾燥さくらんぼ「ミツチェリー」)の事例紹介など

【北海道】 北海道森町立森小学校

日時:2017年9月19日(火)

対象:5年生、約70名

概要:地熱発電模型実験および地熱発電の概要紹介や自治体の取組み、森地熱発電所および地熱利用ハウスの農家の事業紹介など

【熊本県】 熊本県小国町立小国中学校

日時:2017年10月6日(金)

対象:1・2・3年生、約170名

概要:熊本大学熊本創生推進機構政策創造研究教育センター、同国際先端科学技術研究機構と連携して実施する地熱を活かした小国町の未来を考えるワークショップなど

2. 主催

独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構(JOGMEC)、日本地熱協会

3. 後援(予定)

各地方自治体、開催地域の地方新聞社、地元放送局、全国地方新聞社連合会

4. 協力

各実施校

5. 問合せ先

担当:JOGMEC 地熱部地熱開発課 高橋

e-mail:takahashi-yutaka@jogmec.go.jp

電話:03-6758-8015

「地熱発電の日」ポスターのデザイン

「昭和41年10月8日」
日本の地熱発電がはじまった日。
それから半世紀以上の年月を重ねた現在、
安定的でクリーンな純国産エネルギーとして
地熱発電が再び注目されています。

地熱 JOGMEC 検索!

JGA 日本地熱協会
Japan Geothermal Association

JOGMEC
社団法人 地熱エネルギー・地熱発電推進機構

電気事業連合会